

たちあらいくうしゅう おごおり ▶ 大刀洗空襲と小郡



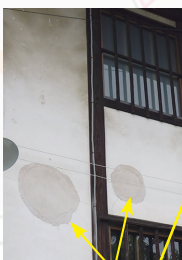
ごめん
戦争は、もう御免です。

しょうげん
～「大刀洗空襲」の証言～

はは おとうと くち わたし
大刀洗空襲で、母と弟をなくしました。口にすることが私に
きわ たいけん にんげん
としては極めてきつい体験です。私にとって、人間にとって、こ
ち きゅうじょう いのちはぐく
の地球上で命育むものにとって、戦争は、もう御免です。

ひとり
この3月27日という日は、私にとってたった一人っきりの、か
めいにち あ くわ かぞ さい
けがえのない母の命日に当たる日です。加えて、数えの2歳に
み まってい おさな む ざん や
も満たない末弟の幼い命が、母の背に背負われて無残にも焼
くだ ち じつ むねんきわ つうこん
けただれ砕け散った、実に無念極まる痛恨の日でもあります。

その後
4月18
あたりし、
に避難し



ロケット弾

『不戦の日』 ～花立地区の空襲～

日、2度目の空襲がありました。空襲の際、隊員たちはある花立山方面に逃げましたが、それを見届けたかのよ地区一帯が大規模な空襲を受けました。

区では、戦争を風化させてはいけなと、この日を「不戦の日」と位置づけ、が行われています。



花立山の防空壕

傷ついた観音像と釈迦像

花立地区への空襲によって傷ついた観音像と釈迦像です。右側の観音像は首が爆風で飛ばされて折れ、左側の釈迦像の後背部分も欠けており、爆撃の激しさを物語っています。

後背が欠けた釈迦像

首が折れた観音像



墜落した爆撃機



も空襲は相次ぎ、多くの被害が出ています。

日の4回目の空襲の際、小郡上空にきたアメリカ軍機に日本軍機が体下町の民家の畑に墜落・炎上。搭乗員11人全員がなくなり、防空壕でいた家族6人も墜落機の直撃を受け、全員犠牲になりました。

7月28日には、干潟の酒造所にロケット弾が命中し、大きな被害を受けています。この建物の壁面には3つの穴を埋めた跡が現在も残っており、被害の大きさを見ることができます。

この他にも、民家や鉄道施設も爆撃され、小郡市内で多くの命が奪われました。



の跡